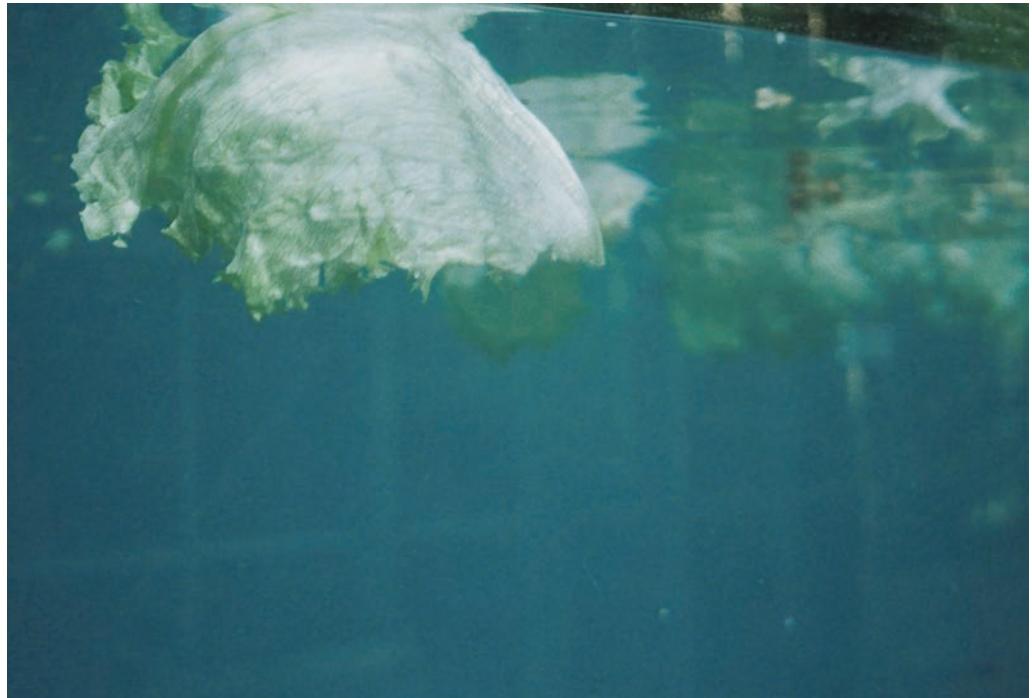


海
と
玉
ね
ぎ

中
島
里
菜



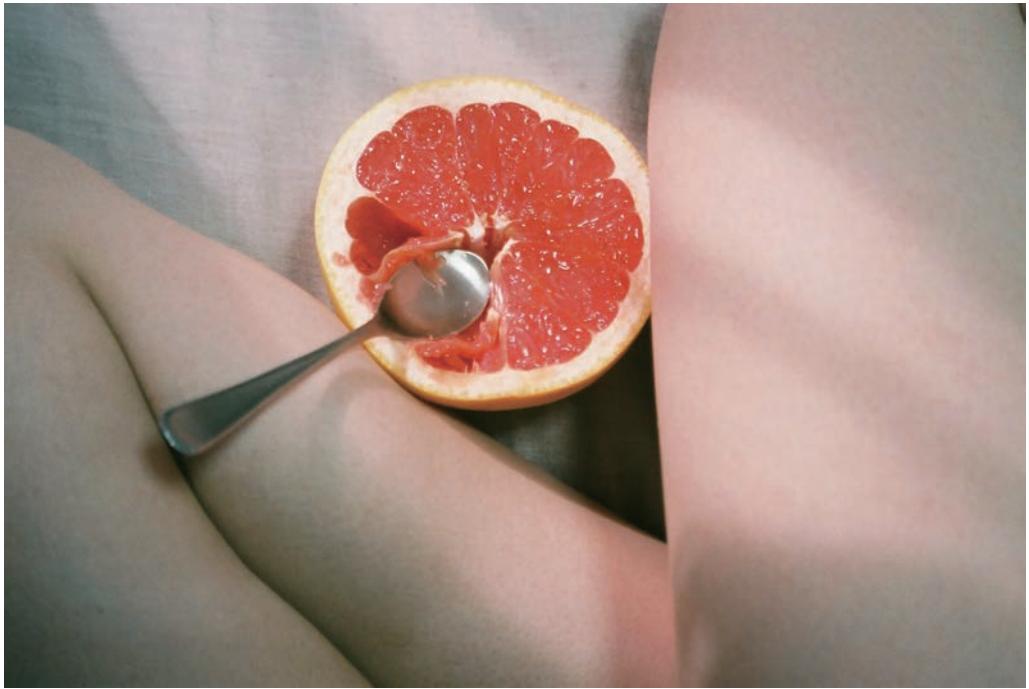
























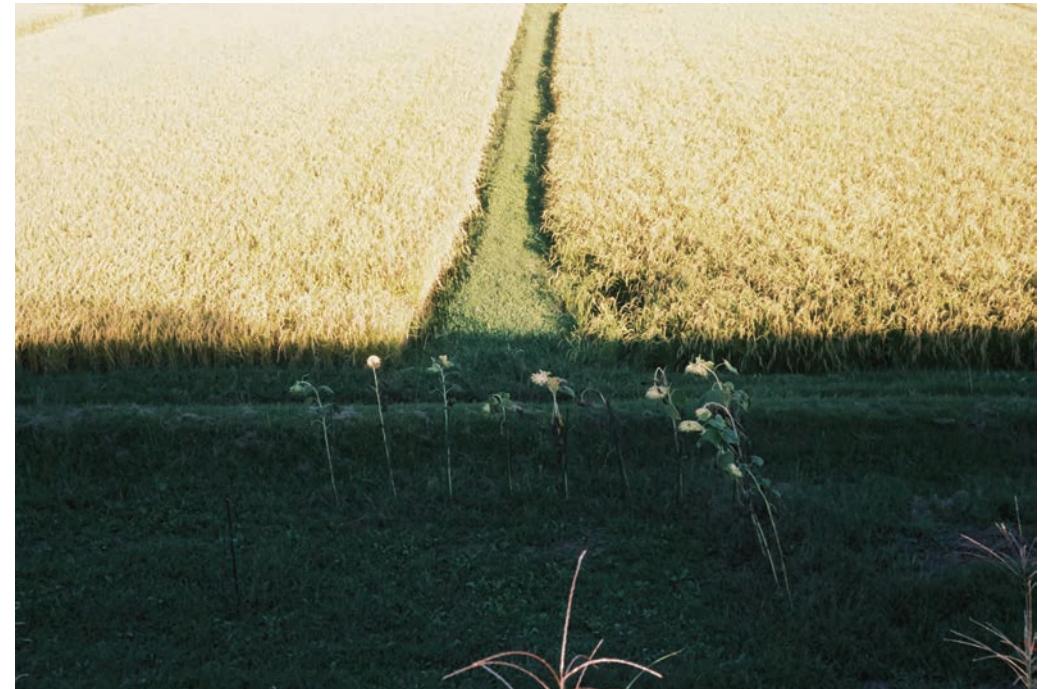










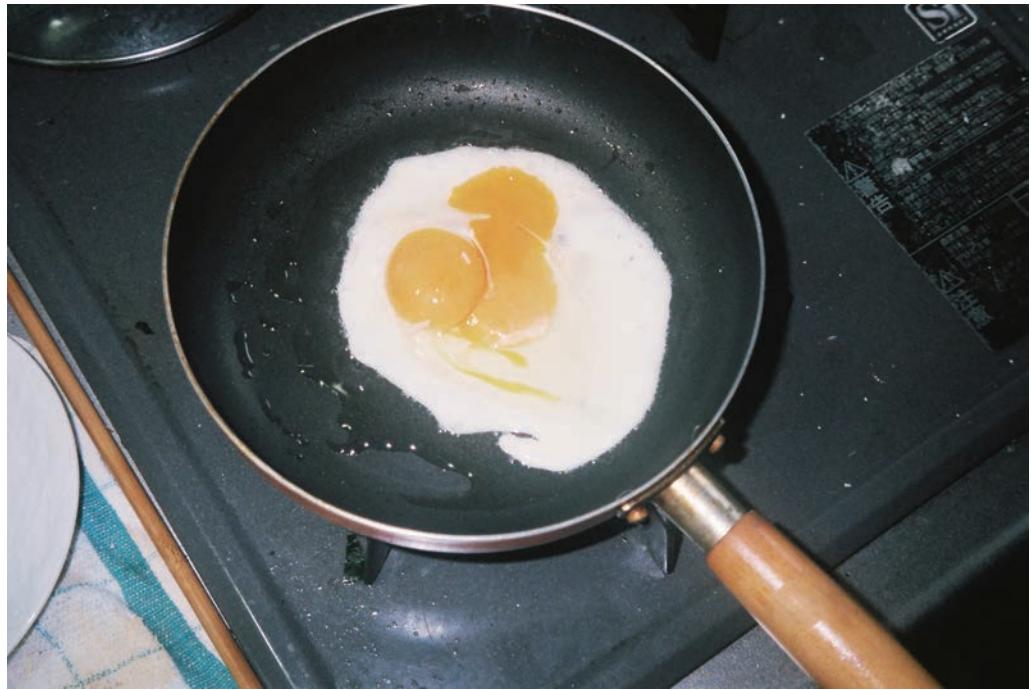












































物心ついた頃から、絵を描くのが好きだった。

少女漫画を真似した、不自然に瞳の大きなお姫さま。

指を描くのが苦手だから、絵のお姫さまはいつもみんな後ろで腕を組んでいた。

小学生になっても中学生になっても飽きもせず女の子の絵を描いていた。

ある日、父が「デザインの学校で使っていたんだ。」と、使い古しの消しゴムをくれた。

ステッドラーの消しゴム。

みんなが使ってた消しゴムとはまた違い、使い心地が良く、なによりこの外国らしいデザイン
が特別な気がして大好きだった。

思い返せば、消しゴムの最後の最後、なくなるまで見届けることはなかった。

気づいたらどこかへ転がってしまって、そうしたら何の疑問も抱かず新しいものを買っていた。

それでもステッドラーの消しゴムだけは、小さくて消しづらくなても、摩擦で爪が熱くなって
不快でも使い続けた。

中学三年生の終わりに散りぢりになって使えなくなってしまった。

そして使うのは諦めたけれど、まるでお守りのようにずっと筆箱に入れていた。

今はもうステッドラーの消しゴムがどこにあるのかわからない。

あんなに大切にしていたことも今日まですっかり忘れていた。

日々はあっという間に過ぎ去ってしまう。

私の日々には、あのひとみたいなサクセストーリーも、あのひとみたいな悲劇もなく、
ドラマチックなことなんてなかった。

それでも世界は回っていて、確実に何かが変わっていく。

私の日々にもなにかが起こっていて、いつの日かそれに気がつくのかもしれない。

今なんとなく過ごしている瞬間は尊く、いつの日にか、いつかの宝物になるのかもしれない。

中島 里菜 | NAKAJIMA Rina

2001 年 長野県伊那市生まれ

2020 年 「とるにたらないものもの」 甘酒屋 an's （長野 / 辰野）

2021 年 「透明な布」 Roonee 247 fine arts （東京 / 小伝馬町）

専門学校東京ビジュアルアーツ 卒業

2022 年 「海と玉ねぎ」 third district gallery （東京 / 新宿）

現在小学館スクウェア写真事業部勤務

海と玉ねぎ

2022 年 5 月 10 日 第一版 第一刷

著者 中島里菜

編集 本山周平

装丁 関田晋也

発行所 GRAF Publishers
東京都中野区中央 5-24-11 203

印刷所 株式会社 graphic

定価 3500 円（税込）

©NAKAJIMA Rina